

(1) 学校教育基本構想

高知県教育委員会並びに南国市教育委員会の教育行政方針を基底とし、郷土を愛し、心豊かでたくましい人間性と創造力・実践力ある大湊の子どもを育成する。そのために、知育・徳育・体育・食育のバランスのとれた教育を創造する。



【①基本姿勢】

□経営の基本的姿勢 「あたたかく、きびしく」

- ①児童理解に努め、一人一人を大切に、生き生きと輝き合っている学級・学校経営を展開する。
- ②本校の職員であることへの誇りを持ち、使命と責任の自覚のもと、組織の一員として教育目標の具現化に向けて取り組む。
- ③児童一人一人の個性や能力に即した指導を行い、子どもとともに学ぶ姿勢を持つ。
- ④児童・保護者・地域住民の願いにこたえるよう、総力をあげて豊かな教育内容の創造と学校環境を整備し、美しくぬくもりのある学校をつくる。
- ⑤お互いを信頼し、磨き合い、協力し合い、全教職員が創意と工夫に満ちた教育活動を展開する。

【②具体的方策】

①教科<智育> 「わかる、できる、楽しい授業づくり」

- 認め合い、支え合い、ともに高まる学習集団の創造を図る。
- 基礎的・基本的事項の定着と学力の向上を図る。
- 問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ、自ら学ぶ意欲を育てるとともに、主体的に判断し、問題を解決する力を育てる。
- 授業評価の改善や効果的な活用、複式での指導方法を工夫・改善し、個に応じた指導の充実・強化を図る。
- 地域の人材や環境を積極的に活用し、学習指導の充実に努める。

②道徳教育<徳育> 「心に響く道徳教育」

- 教育活動全体を通じて、豊かな人間性や道徳的判断力、実践意欲、態度を育てる。
- 学校や学級内の人間関係や環境を整える。
- 基本的生活習慣の定着・促進を図る。
- 「人権・心の教育参観日」を実施し、保護者への理解を図る。

③特別活動 「自主的、実践的な態度を育てる」

- 集団活動を通して、協力したり助け合ったりできる力を育てる。
- 健康安全、給食指導の常時化と充実を図る。
- 家庭や地域の人々との連携・交流、社会教育施設等の活用の工夫を図る。
- 自然体験や社会体験などの充実を図る。

④総合的な学習の時間「みんな大好き！ 大湊大好き！」

- 自ら課題を見つけ、自ら考える力の育成、学び方・調べ方を身につけた子どもの育成に向け、学習・体験活動内容の工夫・実践をする。
- 「人と人との出会い、つながり」を芯に据えて、いろいろな人と出会い、かかわりを深める中で、伝え合う力や人間関係作りの力を高める。
- 総合的な学習の時間を支える基礎学力の定着と学力の向上を図るとともに、表現力・コミュニケーション能力の育成を図る。

⑤人権教育 「誰もが大切にされる温かく楽しい学校！」

- 21世紀を生きる子どもたちに確かな人権意識と豊かな人間性を育むよう、地域の実態に合った系統的な取り組みの充実を図る。
- 子どもの発達段階に即した豊かな感性や人間性を育む教育内容を創造する。
- 知識、技能（スキル）、態度の総合的な育成が図れる指導内容や指導方法の工夫・改善、充実のための研修に努める。
- 一人一人の人権を守り、大切に実践力・行動力のある子どもを育てる。
- 課題のある子どもを中心に据えた集団づくりや個に応じた学習形態を創造し、全ての子どもの学力向上に努める。
- 積極的に児童理解をおこなうと共に保護者との関係づくりに努める。
- 「人権・心の教育参観日」を実施し、保護者への理解・啓発を図る。

⑥防災教育<防育>「自分の命は自分で守る」

- 地震、津波の被害について知り、普段から身を守ることや避難について意識していく大切さを理解させる。
- 地域の自主防災組織の活動や避難所生活について学び、自分たちにできることを考える。

⑦健康安全・食教育<体育・食育>「生命を尊重する」

- 他人を思いやり、自他の生命を尊重する心と態度を養い、安全な行動の習慣化と体力づくりの推進を図る。
- 食教育を通して、自分の健康に関心を持つとともに、感謝の心を育てる。
- 家庭・地域・関係諸機関との連携を図りながら、健康安全教育・食教育に努める。

⑧国際理解教育 「世界にはばたこう」

- 人間尊重の精神を基盤とし、自国や他国の文化や伝統・生活の違いに気づき、理解し、大切にしようとする態度を育成する。
- 英語に触れ、興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを楽しむ態度の育成を図る。
- 外国語指導助手（ALT）の効果的な活用を図り、ALTとの授業の工夫に努める。

⑨福祉教育 「福祉の心の輪を広げよう」

- 地域の人々との交流や勤労・奉仕活動を通して、福祉の心の輪<思いやりの心、ともに感じる心、みんなで助け合う心>を学校・家庭・地域で大きく広げる。
- 植物や動物を育てることを通して、生命を尊重する心を育てる。

⑩図書館教育 「本は心の栄養」

- 読書を通し、豊かな心と表現力を育てる。
- 本に親しみ、読む喜びを体得させよう。
「読書タイムの位置付け、読書強化月間」
- 読書ボランティアの活動による地域との連携を図る。

⑪キャリア教育<才育>「『夢』や『志』をかなえよう」

- 「学力向上」「基本的生活習慣の確率」「社会性の育成」を三本柱として取り組む。
- 夢や希望、憧れる自己のイメージを持てる取り組みの工夫をする。
- 他者とかかわり合う力を伸ばし、仕事や環境への関心・意欲を高める。

⑫開発的生徒指導 「温かい人間関係を醸成しよう」

- 学校生活を楽しく、規律正しいものにしようとする態度を育てる。
- 学校が居心地のよい場所であり、児童の自己実現を育む環境となるように努める。
- 全教職員が児童についての情報交換を積極的に行い、児童理解に努め、校内の協力体制と指導体制の充実・強化を図る。（必要に応じて関係機関との連携による取り組みを進める）

⑬進路指導<才育> 「やる気と自信を育てよう」

- 一人一人の児童のよさを発見し、認め、ほめ、励ましてやる気と自信を育てる。そのためにも児童理解に努め、全教職員が共通理解して取り組む。
- 児童に将来への希望を持たせ、生涯を通して意欲的な生活が送れるよう、発達段階に即した生き方指導の充実に努める。
- 基礎学力の定着と学力向上について、校内研修を充実し、授業実践をする。

⑭開かれた学校づくり「地域とともに」

- 外部評価の結果から、学校運営に地域の人々や保護者、児童の意見を取り入れるとともに、学校の教育活動を家庭や地域に周知し、学校教育・運営の活性化を図る。
- 地域とのつながりをさらに深める学習・体験活動を充実・推進する。

【③重点項目】

1. 毎日（学校）が楽しい

◎人権教育の推進「いじめのない楽しい学校づくり」

- 人間関係づくり（横:学級、縦:異学年）
- 自尊感情の育成 → 「意欲・自信」（日々の授業を大切に）
- 児童理解

◎生活指導（生徒指導）の充実

- ◇あいさつ
- ◇そうじ
- ◇規範意識の確立(学校のきまり、社会のルール)

2. 勉強が楽しい

◎学力の定着、向上

- 大湊授業スタンダード
- 授業改善(学習意欲)
 - ◇児童一人一人の課題を把握
 - ◇基礎基本の徹底及び学力向上対策
 - ◇加力指導の充実（朝学習、大湊タイム）
 - ◇ユニバーサルデザイン(授業、環境づくり継続)
 - ◇家庭学習の充実

3. 大湊が楽しい

◎英語教育の推進

【英語教育強化地域拠点事業】2014～2017年度

【外国語教育強化地域拠点事業】2018～2020年度

- ◇1・2年：外国語活動 週1時間
- ◇3・4年：英語科 週1時間
- ◇5・6年：英語科 週2時間
- ◇ALT、英語教育支援員との連携

◎防災教育の工夫・充実

- ◇カリキュラムの見直し
- ◇避難訓練の工夫、充実
- ◇地域ぐるみの取り組み

◎地域学習の充実

- ◇地域の「ひとものこと」を大切にされた地域学習の充実
 - 1年【たんけんしよう！大みなど】【地域の避難場所】
 - 2年【ぼうけん、発見、まちたんけん】【地域の避難場所】
 - 3年【大湊のトラディショナル】【地震・津波から命を守ろう】
 - 4年【出港祭が語るもの】【地震・津波に備えよう】
 - 5年【大湊の昔にタイムスリップ（掩体）】【生き方を守ろう】【防災マップづくり】
 - 6年【大湊歴史探訪】【共に生きる】

【学力実態把握・検証】
◇全国学テ四月(6年生の国・算)
◇県版学テ十二月(4年生の国・算、5年生の国・算・理)
◇標準学テ四月(4年生の国・算、5年生の国・算・理)
十二月(1～3年生の国・算、6年生の国・算・理)

【おみなどシート】①②
【じぶんシート】による実態把握・検証

五月・十一月、2回の実施